

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公表番号】特表2000-504482(P2000-504482A)

【公表日】平成12年4月11日(2000.4.11)

【出願番号】特願平10-525385

【国際特許分類第7版】

H 01 J 61/06

H 01 J 61/067

【F I】

H 01 J 61/06 K

H 01 J 61/067 L

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月26日(2004.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年10月26日

特許庁長官 小川 洋 殿

1 事件の表示

平成10年 特許願 第525385号

2 補正をする者

名 称 コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス エヌ
ヴィ

3 代 理 人

住 所 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号
霞山ビルディング7階 電話(3581)2241番(代表)

氏 名 (7205) 弁理士 杉 村 興 作



4 補正対象書類名 請求の範囲

5 補正対象項目名 請求の範囲

6 補正の内容 別紙のとおり



方 式 査



請 求 の 範 囲

1. 気密封止した管状ガラスランプ容器と、ランプ容器中に希ガスを含むイオン化可能な充填剤と、電子エミッタを有するランプ容器内の電極と、この電極に接続され且つランプ容器の外側に表面を有する電流導体とを含む低圧放電ランプにおいて、電極のうちの少なくとも1つをメッシュ部材とし、電子エミッタが、Ta、Ti、Zr、Sc、Y、Laを含むグループ及びランタノイドから少なくとも1つの金属を有する元素Ba及びSrのうちの少なくとも1つの混合酸化物を含み、Xが0乃至1の範囲にある組成 $Ba_x Sr_{1-x} Y_2 O_4$ の電子エミッタを除外することを特徴とする低圧放電ランプ。
2. 前記電子エミッタが、Xが0乃至1の値の範囲にある $Ba_4 Ta_2 O_9$ 、 $Ba_5 Ta_4 O_{15}$ 、 $Ba Y_2 O_4$ 、 $Ba Ce O_3$ 、 $Ba_2 Ti O_4$ 、 $Ba Zr O_3$ 、 $Ba_x Sr_{1-x} Ti O_3$ 、及び $Ba_x Sr_{1-x} Zr O_3$ から成るグループから選択された1つ以上の混合酸化物含むことを特徴とする請求項1に記載のランプ。
3. 前記電子エミッタが $Ba_4 Ta_2 O_9$ 、 $Ba Ce O_3$ 、 $Ba_2 Ti O_4$ 、 $Ba Zr O_3$ 、 $Ba_{.5} Sr_{.5} Ti O_3$ 、及び $Ba_{.5} Sr_{.5} Zr O_3$ から成るグループから選択された1つ以上の混合酸化物を含むことを特徴とする請求項2に記載のランプ。
4. 前記メッシュ部材に接続された電流導体を管状とし、ランプ容器が主要部分と補助部分とを有し、これら部分を管により互いに接続したことを特徴とする請求項1、2或いは3に記載の低圧放電ランプ。
5. 前記メッシュ部材をランプ容器の補助部分に配置したことを特徴とする請求項4に記載の低圧放電ランプ。
6. 各電極をメッシュ部材としたことを特徴とする請求項4或いは5に記載の低圧放電ランプ。